



中央公民館

- ・われは熊楠 (岩井 圭也)
- ・赤パンラプソディー (桐衣 朝子)
- ・了巷説百物語 (京極 夏彦)
- ・六月のぶりぶりぎっちょよう (万城目 学)
- ・ドクター・デスの再臨 (中山 七里)
- ・愚道一休 (木下 昌輝)
- ・銀河の図書室 (名取 佐和子)
- ・あなたを待ついくつかの部屋 (角田 光代)
- ・サンショウウオの四十九日(朝比奈 秋) (垣根 涼介)
- ・武田の金、毛利の銀 (松永 K 三蔵)
- ・バリ山行 (石川 祐希)
- ・頂を目指して (今村 昌弘)
- ・明智恭介の奔走

児童書

- 「ぼくはひとりだ」
- 「なんのサンドイッチ？」
- 「火の鳥 いのちの物語」

※ここに記載の他、多数の新刊図書が入っています。

衣奈会館

- ・ものぐさ精神分析 (岸田 秀)
- ・もう一つの「幕末史」 (半藤 一利)
- ・白珀石の四重奏 (吉村 達也)
- ・なんでも生まれる (彩瀬 まる)
- ・赤と青のガウン (彬子 女王)
- ・新装版 京都ものがたりの道 (彬子 女王)
- ・難問の多い料理店 (結城 真一郎)
- ・私が見た未来 完全版 (たつき 諒)
- ・三浦敏和画集 (三浦 敏和)
- ・なぞとき (畠中 恵)
- ・下町サイキック (吉本 ばなな)
- ・俺たちの箱根駅伝 上・下 (池井 戸潤)
- ・狐花 葉不見冥府路行 (京極 夏彦)
- ・こどもに聞かせる一日一話・2 (母の友編集部)
- ・現代調理器具論 (稲田 俊介)

児童書

- 「オレ、ねたくないからねない」

白崎会館

- ・娘が巣立つ朝 (伊吹 有喜)
- ・クスノキの女神 (東野 圭吾)
- ・35 年目のラブレター (小倉 孝保)
- ・山腹の家 (久七 龍治)
- ・ある明治人の記録 (石光 真人)
- ・転の声 (尾崎 世界観)
- ・わたしの知る花 (町田 そのこ)
- ・修羅の国の子供たち (田村 和太)

児童書

- 「マッシュル 6 巻〜18 巻」
- 「きょうはだれのおたんじょうび？」
- 「どんどんめぐり」



由良町公民館だより 2024 秋号 令和 6 年 10 月 1 日



- ・由良町中央公民館 (日高郡由良町網代 248-12 ☎65-2418)
- ・衣 奈 会 館 (日高郡由良町衣奈 765-7 ☎66-0921)
- ・白 崎 会 館 (日高郡由良町吹井 910-2 ☎65-3510)

記憶・・・経験・・・見守り

年を重ねてくると最近の出来事や、今聞いたことが右の耳から左の耳へ通り過ぎて頭の中には何も残っていないことが多くなってくることがあります。反面、子どもの頃のことや随分昔のことを鮮明に覚えていることがあります。

小学生の頃(昭和40年頃)、阿戸方面に釣りなどで遊びに行くことが時々あり、その頃の阿戸(大字)には、太平洋戦争当時作られた防空壕や弾薬庫跡がそのままの状態で見えなく、閉鎖されたために簡単に入ることができたので、懐中電灯を持って東側の壕を探検することにしました。

東側の壕の入り口は、ごつごつとした岩肌がそのままの状態、西側の壕は一部がコンクリートで補強されていました。いずれの壕も奥の方が真っ暗で外からは何も見えなく、閉鎖されていたために簡単に入ることができたので、懐中電灯を持って東側の壕を探検することにしました。

当時の懐中電灯は光の届く範囲が狭く、そのために少しずつしか進めませんが、奥に向かって進むにつれて緩やかな時計回りの曲線を描いており、数メートルで行き止まりになっている横穴などがありました。そこを過ぎ進んで行くと直線になり、先方から光が見えてきたので光に向かって進んでいくと、対岸の江ノ駒周辺の景色が広がっていました。驚いたことに西側の防空壕と繋がっていたのです。

現代では、道路の拡幅や海岸の埋め立てなどにより周辺は様変わりしており、また、危険なこともあるためなのかわかりませんが塞がれており、入り口の位置さえも分かりづらくなり、立入ることができません。一酸化炭素中毒や落盤事故などを思えば、その頃の行動に恐ろしくなることがあります。

昭和の時代は、子どもの遊びに親が干渉することが少なく、危険なことなど自分自身の体験から学んだように思いますが、取り返しのつかないような事故も数多くあったように思います。

現在は、スマホやパソコンが普及し、以前とは違った危険な事も溢れていますが、子どもの能力を伸ばしていく為には、多様なことにチャレンジさせ体験させることが大切だと思います。ほかにも大切なことはありますが、様々なことを経験することにより、状況判断のできる子どもを育てられるのではないのでしょうか。そのために、両親はもとより地域の方々も一緒になって見守り育てられる町にしていきたいませんか。



夏休み子ども講座



【ランプシェード作り】



【リトミック♪】



【あみもの教室】



【毛筆色紙】



【液体窒素（-196℃）のおもしろ実験】



【絵を描こう】



【硬筆教室】



【子ども防災！】

由良町中央公民館では、夏休み子ども講座（8講座）を開催しました。子ども防災では、水消火器を使った消火訓練とクイズ形式のDVD鑑賞等で楽しみながら防災について学びました。次回も、子ども達が興味を示してくれるような講座を開催していきたいと思います。

10月～12月の行事予定

由良町中央公民館

*文化展

10月26日(土)～
11月3日(日)

*芸能発表会

11月23日(土)

*山野草展示会

11月16日(土)～
11月17日(日)

【読書週間】

*期間

10月27日(日)～
11月9日(土)

今年の標語は

「この一行に逢いにきた」
です

期間中、図書を借りられた方に特製しおりを配布しますので是非ご来館ください。

【俳句】

「燈籠流し始まる」とお將の声

上本 郁子

灯す手に波音近し魂迎

大谷 武美

落つる陽を水尾でつなぎて舟晩夏

片山 綾子

終戦日暑く長き日と母言はく

狩谷 節子

打ち水の匂ひ懐かし祖父の家

川口 夏生

白きシャツ選びて終戦記念の日

小谷 かおり

体ふくごと位牌拭く盆仕度

小山 ひとみ

生くるとは力出しきる土用波

坂田 妹子

戦争の恐しさ知る終戦日

高橋 義巳

開け放しの三和土いきかふ盆の風

竹中 桃代

窓ごしに声をかけたる蝸牛

田淵 佳根

日没のぎりぎりまでを法師蟬

広瀬 峰雄

新涼の鳥居くぐれる漢かな

藤田 薫

盆踊りいつしか浜辺まるくなり

吉村 美恵子

仏間にあるぶ厚き卓や終戦ヨ

北岡 ゆみ

【講座のご案内】

由良町中央公民館

英会話教室の開催について

由良町中央公民館において、11月より第2・4水曜日(全6回)午後7時30分から英会話教室を開催します。講師は昨年引き続き、由良町ALTのキャストロ・ルイス・ハヴィエル先生です。

とても分かりやすく教えて下さるので、初めての方も昨年受講された方も、是非ご参加ください。



◎詳しいことについては、由良町中央公民館までお問い合わせください。